# 令和８年度　陵北中学校「学ぶ力」育成プログラム

～自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力～

学校番号：37002

## 実態

### 「学ぶ力」

| これまでの成果 | 課　題 |
| --- | --- |
| ◇「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合が 54.1%と、全市平均 51.67%をやや上回っている。<br>◇「クロームブックを上手に使えている」と思う割合が 85%と、「端末のアプリケーションを自分で選んで、学習を進めている」の全市平均 65.9%を大きく上回っている。<br>◇「数学の授業はよくわかる」と回答した割合が 79%と、全国学力・学習状況調査の全国平均（数学 73.3%）をわずかに上回っている。 | ◇「自分の意見を進んで発言しようとしている」と回答した割合 46.7%が、全市平均 51.1%から下回っている。<br>◇「新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている」と回答した割合が 65.6%と全市平均 72.7%から大きく下回っている。<br>◇「振り返ったことを、次に生かそうとしている」と回答した割合が 74.6%と全市平均 81.1%から大きく下回っている。 |

### 「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く**相互承認の感度**〉　の現状と課題

◇「自分にはよいところがある」と回答した割合が 82.2%、「自分が必要とされていると感じる」と回答した割合が 67.7%と全市平均のそれぞれ 78.8%、63%をやや上回っており、自己肯定感や自己承認が高いことが伺える。一方で、「人のよいところを見付けようとしている」と回答した生徒の割合が 86.3%と、全市平均 88.8%からやや下回っており、他者との関わり方が今後の課題と言える。

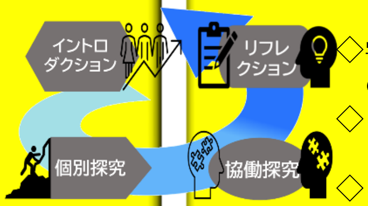
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 自他を尊重し、共に高め合い、支え合いながら主体的に行動する力

## 取組

### AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進

◇研究主題
「自他を尊重し、共に高め合い、支え合いながら主体的に行動できる生徒の育成」
◇研究副主題
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業実践（相互承認と共働）
→研究主題達成のための授業実践
→グループ等での生徒同士の学び合いの場の設定、課題探求活動の設定




### さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実

◇生徒会執行部を中心とした「プラスのまほう」取組の発信（昼の校内テレビ放送の活用）
◇学校行事で「U：ユニーク：個性」を題材としたステージ発表の実施
◇「L：ラブ：お互いを大切に」に向け、行事後に Form アンケートでお互いの発表の「良さ」をテレビ番組で共有
◇さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進
→パートナー校区との Meet 会議・学校紹介動画の共有

〈本プログラムの実行に向けて〉

**新年度**
◇本プログラム共有
・職員会議
・保護者集会
・パートナー校間研修

〔**一人一人の教職員**〕
◇日常の授業・教育活動
◇各自の研修…札教研、年次研修等

〔**学校全体**〕
◇校内研修会（公開授業）
◇子どもの育ちを共有
・学年交流、パートナー校連携

**次年度へ**
◇学校評価
◇校内研修会で成果、課題の整理、共有